

2014年4月1日

関係各位

千代田化工建設株式会社  
IR・広報セクション

2015年3月期 期首訓話要約「追い風を受けて、正のスパイラルへ」  
(実施:4月1日、社長:澁谷 省吾)

不確かな時代を見据えて、これからの時代にふさわしいエンジニアリング会社へ変革する、中期経営計画「時代を捉え、時代を拓く」を発表し経営の舵を取った1年の間に、当社グループの力強さを感じる局面に何度も出会った。今まで頑張ってきた努力が幾つか結果につながって来ており、米国LNG案件2件にも着手した。追い風を受けて、体制を整え正のスパイラルへつなげてゆこう。

<エンジニアリング会社としての社会的使命>

エンジニアリング企業は、時代やその国に必要なインフラ、それも最先端の技術を必要とするインフラを広く担う大きな可能性と社会的役割を有している。当社グループのコア事業であるエネルギーインフラはもとより、「技術の開発」から「ビジネスの開発」のステージに入りつつある新分野事業においても、時代が何を要求しているかを常に問いかけ、その要請に応えていかななくてはならない。日本や世界の、そして人類社会の将来に向け、「時代を捉え、時代を拓く」ビジネスをエンジニアリング会社としてリードしてゆく。

<エンジニアリング会社における求められる個人>

技術力とプロジェクトマネジメント力を両輪として事業に取り組むエンジニアリング会社では、個人の能力とチームワークが勝負となる。日々の業務に対して俯瞰した目で方向性を分析し、自分なりの仕事のやり方や考えを持って主体的に業務を遂行していく。「賢い評論家ではなく、批判されるオリジネータ」として尊重と笑顔でのコミュニケーションを忘れず、プロフェッショナルとしての自信と誇りを持ち、責任を果たしてほしい。

---

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報セクション 赤松勝 / 高橋昌子

電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962

URL: <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>